

## 荒谷封鎖地法面におけるモルタル の一部剥離について（第 2 報）

荒谷封鎖地法面に吹き付けているモルタルの一部が剥離した件について、剥離後に実施しました河川水・封鎖地外の水質、剥離した土壌の調査結果を次のとおりご報告いたします。

### 1. 場所

府中市荒谷町字犬塚 11808 番 100 外

### 2. 実施内容

- ①剥離後平常時の河川水質試験
- ②剥離部分に接触した雨水及び雨天時の河川水の試験
- ③雨天時の湧水処理施設原水の水質試験
- ④剥離した部分の土壌試験

### 3. 試験結果

①河川水質試験（採水日：令和 7 年 10 月 16 日 天候：曇り）

○出口川の水質は基準値以下であることを確認しました。

（単位 mg/L）

項目 調査地点	カドミウム(Cd)		銅(Cu)		亜鉛(Zn)		ヒ素(As)	
	検査値	基準値	検査値	基準値	検査値	基準値	検査値	基準値
本谷橋	0.0004	0.003	ND	(0.3)	0.007	(0.2)	ND	0.01
旧小学校前	0.0008	0.003	ND	(0.3)	0.016	(0.2)	ND	0.01
養鯉池前	0.0014	0.003	ND	(0.3)	0.029	(0.2)	0.005	0.01
佐々田橋	0.0015	0.003	ND	(0.3)	0.033	(0.2)	0.005	0.01

ND：正確に測定できる最小値未満

基準値：環境基準（銅、亜鉛については環境基準がないため、一般排水基準

の 1/10 を参考値として設定)

②剥離部分に接触した雨水及び雨天時の河川水の試験

(採水日:令和 7 年 10 月 19 日 天候:雨のち曇り)

○剥離部分に接触した雨水の水質は基準値以下であり、万一出口川への流入が発生しても河川水に影響ありません。

また、天候の変化に関係なく、出口川の水質は基準値以下であることを確認しました。

(単位 mg/L)

項目 調査地点	カドミウム(Cd)		銅(Cu)		亜鉛(Zn)		ヒ素(As)	
	検査値	基準値	検査値	基準値	検査値	基準値	検査値	基準値
封鎖地雨水①	ND	0.003	0.006	(0.3)	0.008	(0.2)	ND	0.01
封鎖地雨水②	ND	0.003	0.005	(0.3)	0.009	(0.2)	ND	0.01
出口川(佐々田橋)	0.001	0.003	0.006	(0.3)	0.046	(0.2)	ND	0.01

ND:正確に測定できる最小値未満

基準値:環境基準(銅、亜鉛については環境基準がないため、一般排水基準の 1/10 を参考値として設定)

③雨天時の湧水処理施設原水の水質試験

(採水日:令和 7 年 10 月 19 日 天候:雨のち曇り)

○検査結果は令和6年度年間平均値以下であり、湧水処理施設で適切に処理されます。

(単位 mg/L)

項目 調査地点	カドミウム(Cd)		銅(Cu)		亜鉛(Zn)		ヒ素(As)	
	検査値	年間平均値	検査値	年間平均値	検査値	年間平均値	検査値	年平均値
湧水処理施設(原水)	0.16	0.21	2.9	3.2	8.6	9	ND	ND

ND:正確に測定できる最小値未満

年間平均値:令和6年度の湧水処理施設で実施した毎月定期検査の平均値です。

④土壌試験(採取日:令和 7 年 10 月 16 日 天候:曇り)

○土壌溶出量試験でヒ素が基準値を超過していることを確認しましたが、①～③の検査結果から、出口川及び湧水処理施設の原水への影響はありません。また、剥離した土壌については、剥離を確認した翌日の 10 月 15 日に回収し、雨水に接触しない状態で保管しており、今後適正に処理する予定です。

(単位　mg/L)				(単位　mg/kg)				
項目	溶出量	基準値	判定		項目	含有量	基準値	判定
ｶﾄﾞﾐｳﾑ	ND	0.003	○		ｶﾄﾞﾐｳﾑ	4	150	○
鉛	ND	0.01	○		鉛	56	150	○
六価ｸﾛﾑ	ND	0.05	○		六価ｸﾛﾑ	ND	250	○
ふっ素	0.08	0.8	○		ふっ素	ND	4000	○
ほう素	ND	1	○		ほう素	3	4000	○
水銀	ND	0.0005	○		水銀	ND	15	○
ｼｱﾝ	ND	検出されないこと	○		ｼｱﾝ	ND	50	○
ﾋ素	0.11	0.01	×		ﾋ素	66	150	○
銅	0.02	基準値なし	－		銅	96	125	○
亜鉛	ND	基準値なし	－		亜鉛	79	120	○

ND:正確に測定できる最小値未満

含有量試験の銅及び亜鉛について、農用地における基準となります。

#### 4. 今後の対応

○剥離した部分の復旧については、水質試験、土壌試験の結果に基づくとともに剥離したモルタル周辺状況に注視し、現地の安全確保を第一に対応を検討してまいります。